

2月2日 (火)

ランチタイム

今日の給食

\* 青大豆ご飯

\* 鰯の梅煮

\* 節分汁

\* みかんゼリー

\* 牛乳



今日は節分の話です。

節分には『鬼は外、福は内』と言いながら豆をまきます。この習慣はどうして始まったのでしょう？

昔、鞍馬山の奥に鬼が住んでいました。この鬼は人々に乱暴をするので大変怖がられていました。ある時この鬼が都にあばれこもうとしました。そこで人々はたくさんの豆を炒ってこれを鬼に投げて、鬼の目をつぶして都に入るのを防いだそうです。これが豆まきの始まりとされています。

『鬼は外』の鬼は、冬の寒さや病気、災難などのいろいろな悪いことをあらわしています。節分の次の日は立春で暦の上ではこの日から春になりますが、新しい春を迎えるため色々な悪いことを追い払おうという気持ちがこめられています。

いつもは2月3日が節分ですが、今年は2月2日が節分です。これは地球が太陽の周りをまわる時間とカレンダーのズレが関係しています。節分が2月2日になるのは、明治30年くらい124年ぶりだそうです。今日の夜は豆まきをして、鬼を払い払って、福の神を家の中に入れましょう。